

学位論文審査の要旨

		要 旨
学位申請者	鹿内 彩子 【ライフサイエンス専攻 平成22年度生】	<p>糖類の過剰摂取は肥満や糖尿病などの疾患の原因となることが報告されており、特に異性化糖の摂取が問題となっている。ベトナム/カンボジアでは経済発展に伴い糖類の摂取が容易になってきたが、ベトナム/カンボジアでは糖類成分表がなく、国民の糖類摂取量を算定できなかった。本学位論文では、ベトナム・カンボジアでよく摂取されている飲食物 46 種類を選び、糖類（グルコース、フルクトース、スクロース、ラクトースおよびマルトース）の含量を測定して成分表を作成し、ベトナム/カンボジアの子どもの食事調査を実施して、作成した成分表を用いて糖類摂取量を明らかにした。日本の子ども対しても同様の食事調査を行い、糖類摂取量を算定した。</p> <p>糖類の総摂取量は、日本の子どもとベトナム/カンボジア都市部の子どもでは同程度であったが、ベトナム/カンボジア農村部の子どもは両者よりも低かった。いずれの地域も総糖類摂取量は WHO が推奨するエネルギー摂取量の 10%以下であった。また、グルコースとフルクトースの摂取量は、ベトナム/カンボジア都市部が最も高く、次いで日本、ベトナム/カンボジア農村部であった。また、グルコースとフルクトースの合計摂取量が総糖類摂取量に占める割合は、日本では 26%、ベトナム/カンボジア都市部は 46%、農村部は 17%であった。</p> <p>ベトナム・カンボジア都市部では異性化糖を多く含む食品の摂取が高いことを明らかにした。</p> <p>本論文の一部は Journal of Medical Investigation に印刷中である。</p> <p>論文審査会において、論文内容の修正、論文題名の変更等が求められたが、適切な加筆訂正が行われた。口頭発表後の口頭試問では審査員の質問に十分答えられていた。公開発表会での質疑応答においても明確に答えられていた。</p> <p>以上より、本審査委員会は本論文を本学大学院人間文化創成科学研究科における博士(学術)、Ph.D. in International Nutrition の学位に相応しいものと判断した。</p>
論文題目	Sugar Intakes from Snacks and Beverages in Vietnamese/Cambodian and Japanese Children	
審査委員	(主査) 教授 鈴木 恵美子	
	客員准教授 田中 茂穂	
	教授 近藤 和雄	
	教授 香西 みどり	
	准教授 赤松 利恵	
インターネット 公表	<p>○ 学位論文の全文公表の可否（可・否）</p> <p>○ 「否」の場合の理由</p> <p>ア. 当該論文に立体形状による表現を含む</p> <p>イ. 著作権や個人情報に係る制約がある</p> <p>ウ. 出版刊行されている、もしくは予定されている</p> <p>エ. 学術ジャーナルへ掲載されている、もしくは予定されている</p> <p>オ. 特許の申請がある、もしくは予定されている</p> <p>※ 本学学位規則第24条第4項に基づく学位論文全文のインターネット公表について</p>	